

平成29年11月9日

上場会社名 藤森工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7917 URL <http://www.zacros.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布山 英士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理部門管掌 (氏名) 吉野 彰志郎 TEL 03-6381-4211

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	54,602	16.1	4,689	34.1	4,937	40.4	3,123	43.6
29年3月期第2四半期	47,026	0.1	3,496	19.3	3,516	18.6	2,175	22.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 3,226百万円 (101.7%) 29年3月期第2四半期 1,599百万円 (50.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	164.12	162.60
29年3月期第2四半期	114.29	113.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	102,934	59,745	54.8	2,963.29
29年3月期	96,381	56,899	55.7	2,822.27

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 56,398百万円 29年3月期 53,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		33.00		33.00	66.00
30年3月期		33.00			
30年3月期(予想)				33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,000	8.7	8,000	16.4	7,900	12.3	4,700	72.8	246.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	19,267,760 株	29年3月期	19,267,760 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	235,483 株	29年3月期	235,380 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	19,032,364 株	29年3月期2Q	19,032,454 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用・個人消費が底堅く企業業績も好調に推移し、欧州、中国やアジア諸国でも景気が持ち直すなど、全体として着実な回復基調となりました。国内経済については、堅調な雇用・所得環境を受けて個人消費も徐々に持ち直し、世界経済回復を追い風に企業業績が広範囲で改善するなど緩やかに回復しましたが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動などの影響に留意する必要があります。先行きは不透明な展開となっております。

このような環境の下、ライフサイエンス事業で昨年年央に買収したインドネシア子会社の業績が当第2四半期連結累計期間に反映されたこと、建築資材事業で建材関連・土木関連共に販売が堅調に展開したこと、さらに情報電子事業では主力のプロテクトフィルムを中心に需要が伸長したことなどにより、当社グループの売上は各事業とも前年同期比で増加いたしました。

損益面では、研究開発費・戦略的固定費については更なる投入を推進した一方で、全事業セグメントにおける増収の効果が大きく寄与し、加えて高付加価値製品の販売強化、生産効率の向上に努めたことなどにより、前年同期比で増益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高546億2百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益46億89百万円（前年同期比34.1%増）、経常利益49億37百万円（前年同期比40.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益31億23百万円（前年同期比43.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ライフサイエンス事業)

医薬・医療用包装材ではインドネシア子会社の売上が加わったことなどにより増収となりました。さらに、日用品向包装材（粧業包装／詰替パウチ）では大容量の複数回詰替袋の拡販が寄与したことで売上が伸長し、食品用包装材と液体容器でも前年を上回る売上を確保したことで、事業全体として大きく増収となりました。

この結果、売上高は266億14百万円（前年同期比16.7%増）となりました。

(情報電子事業)

プロテクトフィルムについては、足許の需要回復に支えられたことに加え、台湾子会社の稼働率の向上が寄与したことなどにより増収となりました。情報記録用材についてもパソコン・サーバー向けの販売が堅調に推移し、剥離フィルムでも中国スマートフォン向けを中心に売上を伸長させたことで、事業全体では前年同期比で増収の展開となりました。

この結果、売上高は194億4百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

(建築資材事業)

建材関連においては、首都圏再開発物件等により煙突工事並びに空調用配管の売上が好調に推移したことに加え、集合住宅向けポイドスラブ（床構造部材）の売上も前年を上回ることができました。土木関連については、トンネル用資材の売上が増加いたしました。

この結果、売上高は85億83百万円（前年同期比44.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、有形固定資産などが減少しましたが、売上債権、有価証券の増加などにより、前年度末に対して65億53百万円増加の1,029億34百万円となりました。

負債については、借入金などが減少しましたが、仕入債務の増加などにより、前年度末に対して37億7百万円増加の431億89百万円となりました。

純資産は、非支配株主持分30億24百万円を含めて597億45百万円となり、自己資本比率は54.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月11日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,102	6,852
受取手形及び売掛金	29,379	34,653
有価証券	11,098	13,297
商品及び製品	3,884	3,689
仕掛品	1,162	1,451
原材料及び貯蔵品	3,278	3,314
繰延税金資産	633	654
その他	1,731	1,227
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	57,263	65,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,153	36,894
減価償却累計額	△20,602	△20,818
建物及び構築物（純額）	16,551	16,076
機械装置及び運搬具	50,575	51,051
減価償却累計額	△42,487	△43,225
機械装置及び運搬具（純額）	8,088	7,826
工具、器具及び備品	5,955	6,236
減価償却累計額	△5,190	△5,391
工具、器具及び備品（純額）	765	844
土地	5,886	5,680
建設仮勘定	990	769
その他	6	6
減価償却累計額	△3	△3
その他（純額）	3	2
有形固定資産合計	32,285	31,200
無形固定資産		
のれん	584	534
その他	1,314	1,155
無形固定資産合計	1,898	1,689
投資その他の資産		
投資有価証券	3,706	3,693
繰延税金資産	472	457
その他	789	776
貸倒引当金	△35	△16
投資その他の資産合計	4,933	4,911
固定資産合計	39,117	37,801
資産合計	96,381	102,934

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,710	24,311
短期借入金	4,726	4,211
未払金	3,407	3,228
未払法人税等	1,301	1,711
賞与引当金	1,414	1,451
役員賞与引当金	58	48
その他	1,238	1,885
流動負債合計	32,857	36,848
固定負債		
長期借入金	793	693
繰延税金負債	784	682
退職給付に係る負債	4,023	4,058
役員退職慰労引当金	499	506
その他	523	401
固定負債合計	6,624	6,341
負債合計	39,482	43,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,600	6,600
資本剰余金	6,523	6,488
利益剰余金	38,727	41,519
自己株式	△501	△502
株主資本合計	51,349	54,107
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,404	1,465
為替換算調整勘定	1,089	939
退職給付に係る調整累計額	△128	△114
その他の包括利益累計額合計	2,364	2,290
新株予約権	293	322
非支配株主持分	2,891	3,024
純資産合計	56,899	59,745
負債純資産合計	96,381	102,934

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	47,026	54,602
売上原価	36,570	42,447
売上総利益	10,456	12,155
販売費及び一般管理費	6,959	7,465
営業利益	3,496	4,689
営業外収益		
受取利息	8	23
受取配当金	70	35
受取保険金及び配当金	81	57
補助金収入	-	64
その他	91	125
営業外収益合計	251	305
営業外費用		
支払利息	17	23
売上割引	16	17
為替差損	189	12
その他	8	5
営業外費用合計	231	57
経常利益	3,516	4,937
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	42	108
特別利益合計	43	110
特別損失		
固定資産売却損	43	0
固定資産除却損	2	4
事業構造改善費用	-	101
その他	-	6
特別損失合計	46	112
税金等調整前四半期純利益	3,513	4,936
法人税、住民税及び事業税	1,327	1,716
法人税等調整額	△16	△143
法人税等合計	1,311	1,573
四半期純利益	2,202	3,362
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	239
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,175	3,123

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	2,202	3,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77	65
為替換算調整勘定	△700	△216
退職給付に係る調整額	20	14
その他の包括利益合計	△602	△136
四半期包括利益	1,599	3,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,614	3,046
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	180

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,513	4,936
減価償却費	2,202	2,219
のれん償却額	31	29
株式報酬費用	27	28
受取利息及び受取配当金	△78	△58
支払利息	17	23
有形固定資産除売却損益 (△は益)	44	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	△42	△108
事業構造改善費用	-	101
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	41	56
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4	36
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△75	△9
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,201	△4,950
たな卸資産の増減額 (△は増加)	496	△171
仕入債務の増減額 (△は減少)	△441	3,186
その他	124	841
小計	4,661	6,169
利息及び配当金の受取額	78	58
利息の支払額	△15	△23
法人税等の支払額	△1,396	△1,159
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,329	5,045
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	20	-
有形固定資産の取得による支出	△2,262	△1,470
有形固定資産の売却による収入	94	325
無形固定資産の取得による支出	△29	△42
投資有価証券の取得による支出	△10	△11
投資有価証券の売却による収入	84	177
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△1,313	-
その他	△2	△33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,419	△1,053
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,594	△612
長期借入れによる収入	300	-
長期借入金の返済による支出	△485	△100
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△628	△628
非支配株主への配当金の支払額	△21	△31
その他	△21	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,737	△1,418
現金及び現金同等物に係る換算差額	△173	△61
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,473	2,511
現金及び現金同等物の期首残高	12,777	17,200
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	438
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,251	20,150

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、ZACROS (HONG KONG) CO., LTD. は、今後、中国・アジア市場の戦略上の拠点として重要性が高まることから、第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,798	18,287	5,940	47,026	-	47,026
セグメント間の内部 売上高又は振替高	117	404	40	562	△562	-
計	22,916	18,692	5,980	47,589	△562	47,026
セグメント利益	1,350	1,922	223	3,496	-	3,496

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ライフサイエンス」セグメントにおいて、PT Kingsford Holdingsの株式を取得し子会社化したことにより、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,338百万円であります。なお、のれんの増加額は当四半期連結財務諸表作成時点で入手可能な合理的な情報に基づき、暫定的に算定された金額であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,614	19,404	8,583	54,602	-	54,602
セグメント間の内部 売上高又は振替高	115	512	44	672	△672	-
計	26,730	19,917	8,628	55,275	△672	54,602
セグメント利益	1,789	2,173	727	4,689	-	4,689

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。